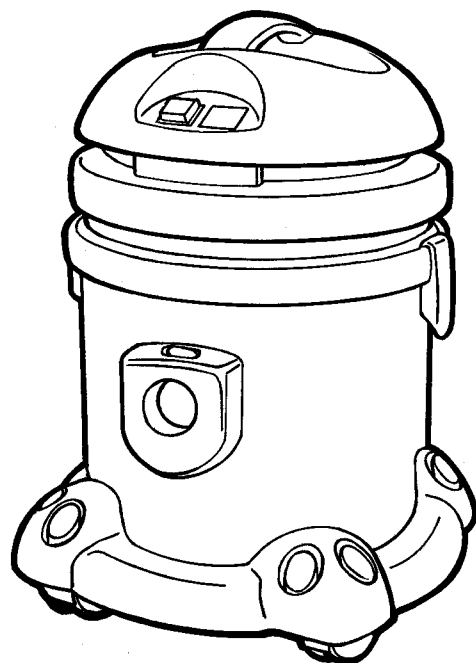


Suiden

ウェット&ドライ クリーナー

SAV-134-Ⅱ

取扱説明書



も く じ

1	安全のために必ずお守りください	1
2	仕様と付属品	3
3	各部の名称	4
4	ご使用方法	4
	1. 水や汚泥などを吸引するときのご注意	4
	2. 電源コードの接続	4
	3. 本体とホースの接続	5
	4. ノズルの接続	5
	5. 風量調節穴	5
	6. スイッチ	5
	7. クリーナー上部の着脱方法	5
	8. フロート(オーバーフロー防止装置)	6
	9. コード掛け	6
5	お手入れ	6
	1. フィルターのメンテナンス	6
	2. モータ交換手順	8
	3. お手入れ	9
6	こんなときは(故障かな?と思ったら)	9
7	安全のための点検のお願い	10
8	アフターサービスと保証について	11

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
 必要ときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド< **Suiden** スイデン>製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
 ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

日本国内100V専用(単相交流100V以外の電源では使用できません)

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、△警告・△注意の2つに区分しています。




しかし、△注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。



△警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

△注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。



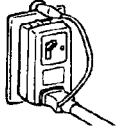

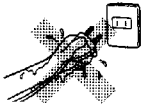







注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵 表 示 の 例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は感電注意）
		⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースを接地する）

●搬入・移動上の注意事項

△ 注 意	
 <p>搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 * 落下・破損などによりケガの原因になります。</p>	 <p>人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけがかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 * 腰を痛める原因になります。</p>

●試運転・運転の際の注意事項

△ 警 告	
 <p>定格 15 A 以上のコンセントを単独で使用する。 * 他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わないと、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。</p>	 <p>アースを確実に取付け、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。 * 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。</p> 
 <p>濡れた手で、差し込みプラグやスイッチ、配線などの電気まわりに触らない。 * 感電やケガの恐れがあります。</p> 	 <p>本機に水や油をかけたリ、雨水のかかる場所で使用しない。 * ショートや感電、火災の原因になります。</p> 
 <p>灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。</p>	 <p>アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などの近くや雰囲気内で使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。</p>
 <p>ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト（石綿）類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。 * 環境汚染・健康障害につながる危険性があります。</p>	 <p>電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 * プラグにほこりなどがたまる、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。</p> 

⚠ 注 意

<p> 10μm(マイクロメーター)以下の粉じんは吸引しない。 * 本機は極小微粉じん吸引には適しません。 ①微粉じんがモータ内部へ入り込み、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。 ②微粉じんがフィルターを通過して排気口から吹出し、雰囲気汚染の原因になります。</p>	
<p> 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p>	<p> 交流 100V 以外で使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p> <p> 電源コードは延長しない。 * コードが発熱して火災の危険があります。</p>
<p> 使用する電源回路を事前に確認する。 * 許容電流 15A 以上の電源回路が必要です。許容電流が合わないと、過熱などにより事故の恐れがあります。</p>	<p> 吸引作業中は、電源コードをほどく。 * モータ焼損などにより、火災や事故の原因になります。電源コードを巻きつけて吸気口や排気口をふさがないでください。</p>
<p> 浮遊粉じんの多い雰囲気で使用しない。 * 吸気口からモータ内部に浮遊粉じんが入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。</p>	<p> 温度の高い(40°Cを越える)場所で使用しない。 * 火災の原因になります。 雰囲気温度範囲は 0°C~40°C です。</p>
<p> 屋外の雨水のかかる場所で使用しない。 * 絶縁劣化による感電・漏電火災・故障の原因になります。</p>	<p> 湿度の高い場所で使用しない。 * 感電・火災・故障の原因になります。 雰囲気湿度 80% 以下でご使用ください。</p>
<p> 水や汚泥などと粉じんを連続して吸引しない。 * フィルターの目詰まりからモータが焼損し、火災の原因になる場合があります。</p>	<p> 鋭利な切粉は吸引しない。 * フィルターを破損し、モータ焼損による火災の原因になります。</p>
<p> シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、火のついたたばこの吸いながら、熱を持った物質などは吸引しない。 * 爆発・火災、フィルター焼損の原因になります。</p>	<p> 腐食性のものを含んだ水や粉体は吸引しない。 * モータ焼損や故障、事故の原因になります。</p> <p> ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。 * ホース破損による汚損事故の原因になります。</p>
<p> クリーナーを移動するときは、グリップを押して動かす。 * 電源コードやホースを引っ張って本機を移動すると、電源コードやホースの破損などにより、火災・感電・汚染事故の原因になります。</p>	<p> 吸込口に手や指を入れない。 * ケガの原因になります。</p> <p> 火気に近づけない。 * 本機の変形により、ショートして発火することがあります。</p>
<p> 横倒しでの使用は絶対にしない。 * 水や汚泥などが吹きこぼれる恐れがあります。</p>	<p> 水や汚泥などの吸引中や吸引後は、本機を横に倒さない。 * 感電・漏電火災・故障の原因になります。</p>
<p> 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p> 電源プラグにピンやゴミを付着させない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>
<p> 電源コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * コードが発熱して火災の恐れがあります。必ず伸ばした状態で使用してください。</p>	<p> 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p> 電源コードに重い物をのせたり挟み込まない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>	<p> 使用後は、電源コードをコード掛けに掛ける。 * 電源コードが劣化したり、傷つくと危険です。</p>
<p> 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>	<p> 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>

⚠ 注 意

<p>! 作業後は、ダストタンク内のゴミを必ず捨てる。 * ゴミをためたままにすると、ゴミが腐敗や化学変化をおこして、健康を害する要因になることがあります。</p>	<p>! ゴミを捨てるときは、保護手袋や安全靴を着用する。 * ゴミなどで手を傷つけたり、ケガをする恐れがあります。</p>
<p>⊘ くわえたばこをしたままゴミを捨てない。 * たばこの火がゴミに燃え移り、やけどや火災の原因になります。</p>	<p>! ゴミを捨てるときは、防じんメガネやマスクを着用する。 * 健康を害する恐れがあります。</p>

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 注 意

<p>⊘ 修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 * 発火したり異常動作をすることがあります。ただし、この取扱説明書に記載のお手入れについては、一般の方が行っても差し支えありません。</p>	<p>⊘ お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 * 感電やケガをする恐れがあります。</p>
---	---

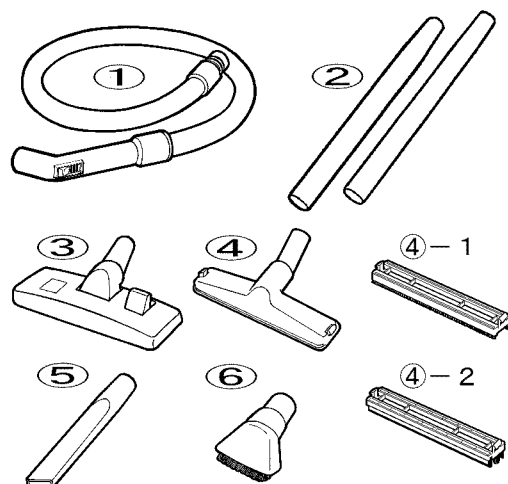
2 仕様と付属品

仕様表

品 番	SAV-134-II
電 源	100V
消 費 電 力	1,340W
電 流	14.0A
風 量	3.1m ³ /min
最大真空圧	21.0kPa
フィルター面積	0.11m ²
ダストタンク容量	11L
ホ ー ス	径φ32×長さ1.5m
電 源 コ ー ド	長さ8m (アース端子付き)
本 体 寸 法	幅410×奥行410×高さ560mm
本 体 質 量	7.8kg

付属品

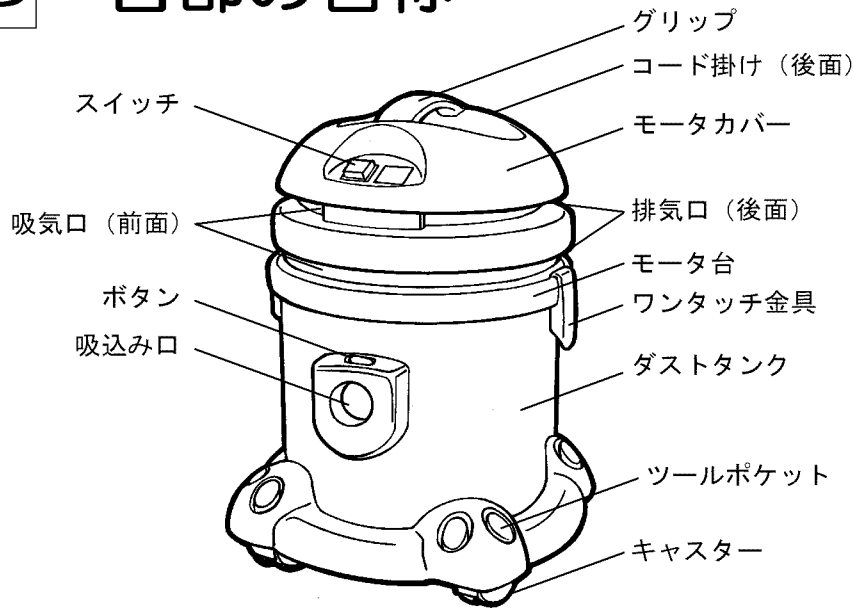
- ① φ32ホース(長さ1.5m)..... 1 本
- ② 直管パイプ..... 2本組
- ③ カーペットノズル..... 1 個
- ④ φ32T型ノズル..... 1 組
 - ④-1. ブラシアタッチメント... 1個
 - ④-2. 水切りアタッチメント... 1個
- ⑤ φ32スキマノズル..... 1 個
- ⑥ φ32角ブラシノズル..... 1 個



注記

- ①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。
- ②付属品は出荷梱包時にダストタンク内に収納している場合もありますので、数量ご確認の際は、ダストタンク内部もお調べください。

3 各部の名称



4 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

注記

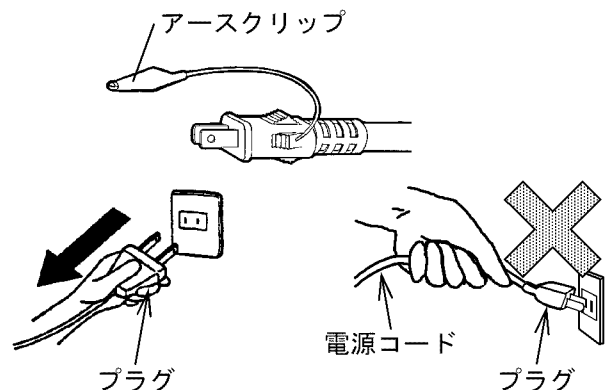
- ① 水や汚泥などと粉じんを連続して吸わせないでください。
- ② フィルターが濡れているときは、乾いたゴミは吸わせないでください。
- ③ 乾いたゴミを掃除した後に、水や汚泥などを吸引すると、フィルターが目詰まりしやすくなります。水や汚泥を吸引する前に、フィルターのメンテナンスをしてください。
- ④ 本機は<軽じん用>です。10 μ m以下の微粉じんの吸引はモーター焼損事故の原因になります。
- ⑤ 水・汚泥などは吸引できますが、切削油などの油類は吸引しないでください。故障の原因になります。

1. 水や汚泥などを吸引するときのご注意

- ① 必ずフィルターをつけた状態でご使用ください。
- ② 水や汚泥などを吸引した後は、すみやかにダストタンク内の水や汚泥などを捨ててください。
- ③ 水や汚泥などを吸引した後に、乾いたゴミを掃除する場合は、フィルターを洗い、よく乾かしてからクリーナーに装着してご使用ください。(フィルター着脱方法は6～8ページ参照)
- ④ 粉じんと、水や汚泥などのどちらも頻繁に掃除する場合は、フィルターを2枚ご用意いただき、粉じん専用と、水や汚泥専用に分けてご使用されることをおすすめします。フィルターは別売品でご用意しています。

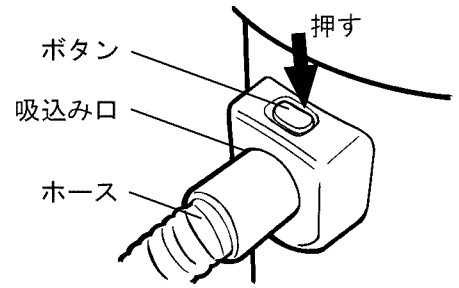
2. 電源コードの接続

- ① 電源プラグを単相100Vのコンセントへ差込みます。アースクリップでアースを取ってください。
- ② コンセントから抜くときは、必ずプラグを持ち、真っ直ぐ抜いてください。電源コードを引っ張ると、プラグが変形して使えなくなることがあります。



3. 本体とホースの接続

- ホースを接続するとき
ホースを、本体吸込み口にカチッと音がするまで差込んでください。
- ホースを外すとき
吸込み口上部のボタンを押しながら、ホースを引抜いてください。

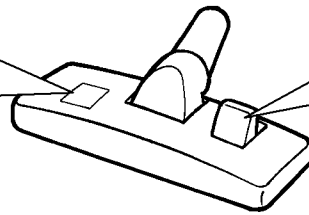


4. ノズルの接続

吸引対象物に応じて、ノズルを選択してください。ノズルの種類は、3 ページ「付属品」の項をご参照ください。
※コンクリート床の清掃には、カーペットノズルを使わないでください。

■カーペットノズルのご使用方法■

切替えレバー
カーペット清掃のときに
倒してご使用ください。



切替えレバー
一般床清掃のときに
倒してご使用ください。

※コンクリート床を清掃するときは、
φ32T型ノズルをご使用ください。

←このイラストは、カーペット清掃
のときの状態です。

■φ32T型ノズルのご使用方法■

T型ノズルに、ブラシアタッチメントまたは水切りアタッチメントを
装着してご使用ください。

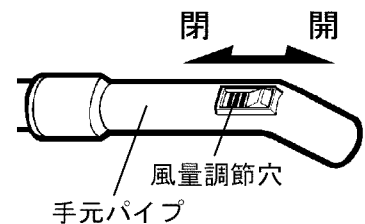
- アタッチメントを外すとき
左右のフックを内側に倒しながら下に押してください。
- アタッチメントを装着するとき
アタッチメントのフックをT型ノズルの穴に合わせて、
フックを上を押込んでください。



5. 風量調節穴

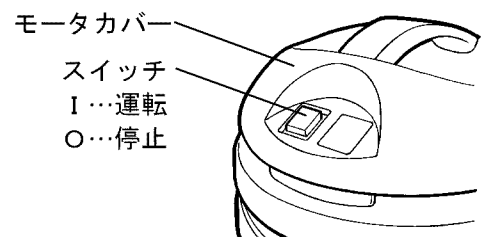
手元パイプに風量調節穴があります。

- ① 粉じんを清掃するときは……風量調節穴を閉じてご使用ください。
- ② 水や汚泥などの吸引には……風量調節穴を開けてご使用ください。



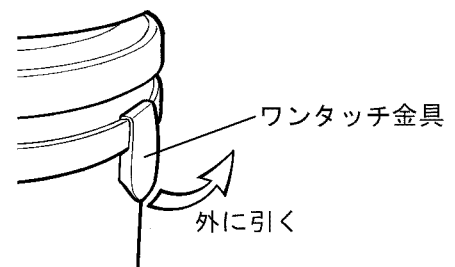
6. スイッチ

モータカバー前面にスイッチがあります。



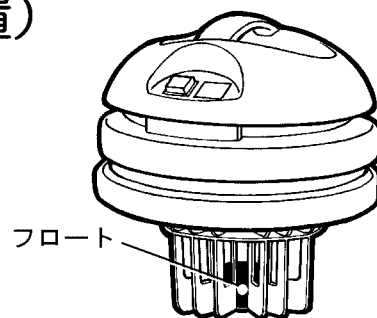
7. クリーナー上部の着脱方法

- ① クリーナー上部は、ワンタッチ金具でダストタンクに固定
しています。
- ② ワンタッチ金具は、下部を外側に引くと外れます。
- ③ 再び取付けるときは、クリーナー上部とダストタンクの
向きを合わせ、モータ台の凹部にワンタッチ金具を止め
てください。
クリーナー上部とダストタンクの向きは、4 ページの「各
部の名称」をご参照ください。



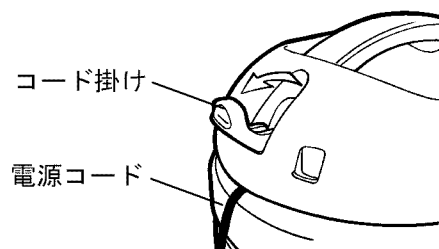
8. フロート（オーバーフロー防止装置）

- ① ダストタンク内に一定以上の水や汚泥などがたまると、オーバーフロー防止のために吸引を停止する装置です。
- ② 装置が働き、吸引が停止したら、電源スイッチを切ってからダストタンク内の水や汚泥などを捨ててください。
- ③ フロートが上がっていると吸引運転ができないので、時々フロートを上下に動かして点検してください。



9. コード掛け

- ① モーターカバー後面にコード掛けを設けています。
- ② 使用後は、電源コードを巻き、コード掛けに掛けて収納してください。
- ③ コード掛けは手前に引き起こして使用します。



5 お手入れ

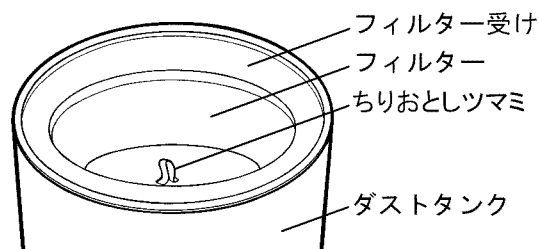
安全にご使用いただくために、必ず「**1**安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. フィルターのメンテナンス

- 注記**
- ①ホースをダストタンクに差込んだままで、ちりおとしをしてください。
*ホースを外してちりおとしをすると、吸込み口より粉じんやホコリがもれる恐れがあります。
 - ②フィルターの目詰まりがひどくなると、ゴミがフィルターバンド周辺からモーターに吸込まれ、モーターの故障原因になります。

(1) フィルターのちりおとし

- ① クリーナー上部をダストタンクから外してください。
※ホースはダストタンクから外さないでください。
- ② ダストタンクにフィルターをセットしたままでフィルター内側のちりおとしツマミをつかみます。
もう一方の手でフィルター受けを押さえながらフィルターをゆすり、フィルターに付着したゴミをおとしてください。
- ③ フィルターが目詰まりすると、吸引力が落ちます。
掃除終了後には毎回必ずちりおとしをしてください。



(2) フィルターを洗う

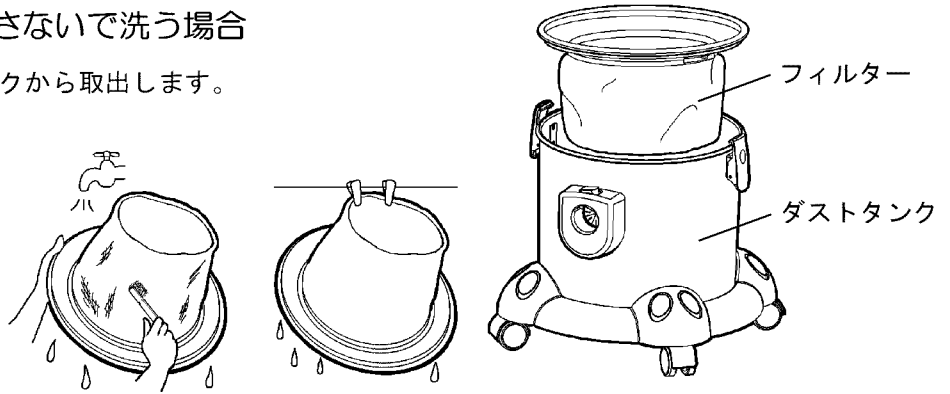
フィルターは洗えます。フィルター受けを外さなくても洗えます。
フィルター受けからフィルターを外す場合は、ドライバーが必要です。

⚠ 注意

❗ フィルターバンドの端などでケガをしないよう注意する。

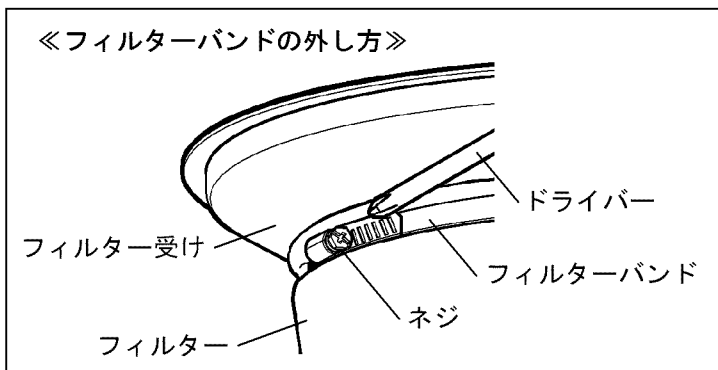
A フィルター受けを外さないで洗う場合

- ① フィルターをダストタンクから取ります。
- ② 歯ブラシなどでゴミを取除き、水または、ぬるま湯などで洗ってください。
- ③ 完全に乾くまで陰干ししてください。

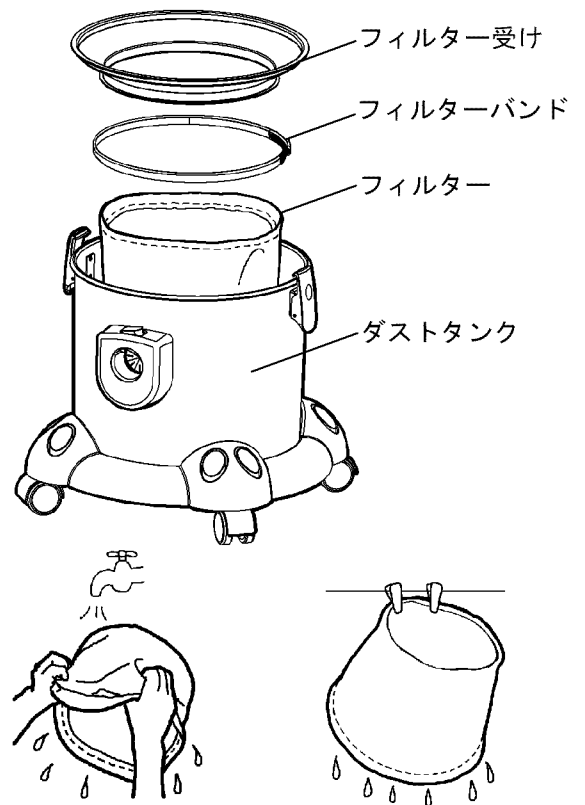


B フィルター受けを外して洗う場合

- ① フィルターをダストタンクから取ります。
- ② フィルターバンドのネジをドライバーで左に回してゆるめます。



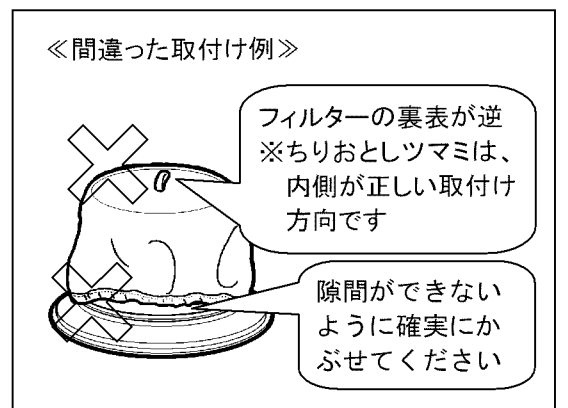
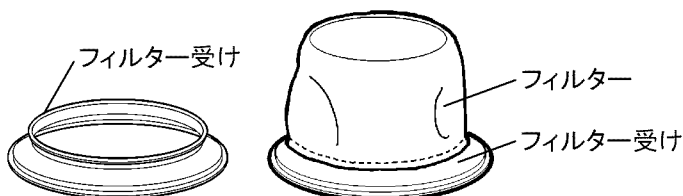
- ③ フィルターをフィルター受けから取外します。フィルターバンドなどの部品を紛失しないようにご注意ください。
- ④ 歯ブラシなどでゴミを取除き、水または、ぬるま湯などで洗ってください。
- ⑤ 完全に乾くまで陰干ししてください。



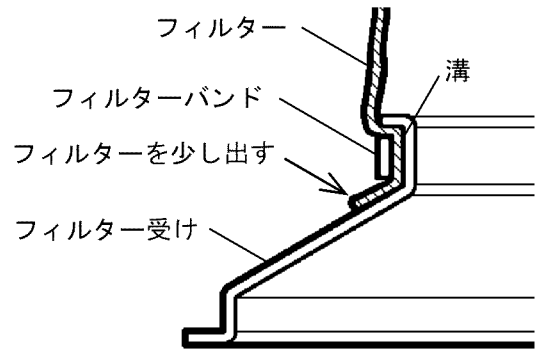
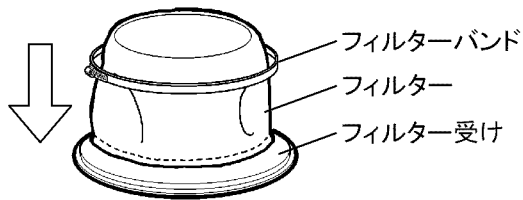
(3) フィルターの取付け方法

注記 フィルターとフィルター受けの間に隙間があると、ゴミがもれたり、吸引中にフィルターが外れて故障の原因になります。フィルターは、フィルター受けに確実にかぶせて、フィルターバンドで確実に固定してください。

- ① フィルターをフィルター受けに取付けてください。隙間ができないように確実にかぶせてください。ちりおとしツマミが《間違った取付け例》の図の位置に見えているときは、フィルターの裏表が逆になっていますので、フィルターの裏表をひっくり返してからフィルター受けに取付けてください。



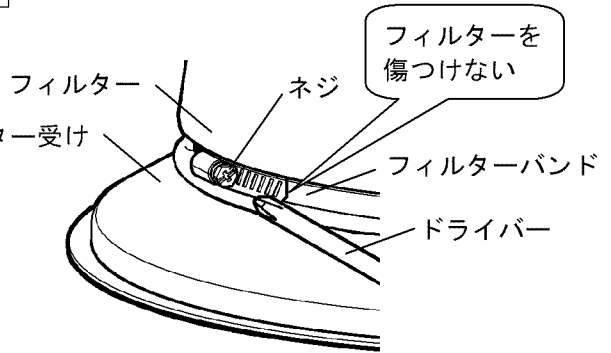
- ② フィルターバンドを通し、フィルター受けの溝の位置で締め付けます。
フィルターが抜けて隙間が出来ないように、フィルターの端がフィルターバンドから少し出るようにかぶせてください。



《締め付け部断面図》

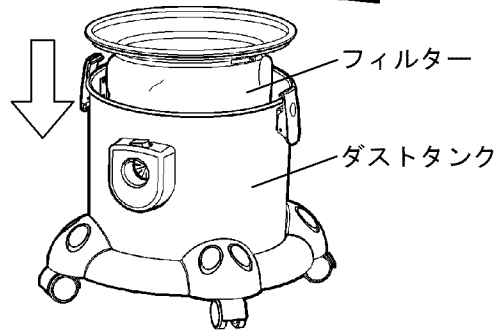
注記 フィルターバンドの端で、フィルターを傷つけないようにご注意ください。

- ③ フィルターバンドのネジをドライバーで右に回して締め付けてください。
- ④ フィルターを引っ張っても、抜けないことを確認してください。
また、フィルターバンドが動かないよう、しっかり締め付けていることを確認してください。



※フィルターを引っ張ると、フィルターが動いてしまう場合は、フィルターバンドを外して、もう一度フィルターを装着しなおしてください。

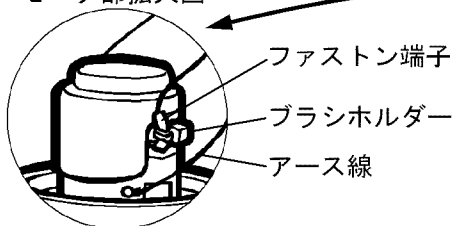
- ⑤ フィルターをダストタンクに装着してください。



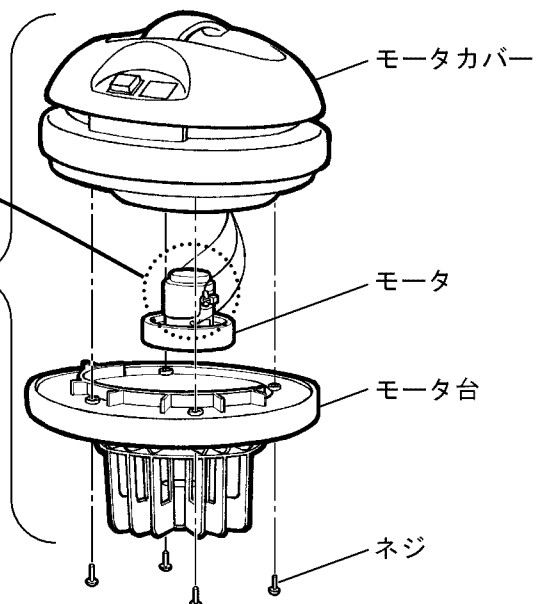
2. モータ交換手順

- ① ダストタンクよりクリーナー上部を外します。
- ② モータ台下側よりネジ4個を外し、モータ台をモータカバーより取外してください。
※フロートガードを固定しているネジは外さないでください。
- ③ モータカバーよりモータを取外します。
モータの底をつかんで、抜取るように外してください。
- ④ ブラシホルダー2か所に差込んでいるファストン端子とアース線をモータから外してください。

モータ部拡大図



クリーナー上部



- ⑤ 新しいモータに、④で外したファストン端子とアース線を取付けてください。
- ⑥ ③→②→①の手順で組付けてください。

3. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてください。

注記 石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

6 こんなときは（故障かな?と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「**1**安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

異常が発生したときは、電源を遮断し、下記の点検をしてください。

症 状	調べるところ	直し方
●モーターが回転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み直します。
	電源ヒューズが切れていませんか？	ヒューズが切れた原因を解消して、ヒューズを交換してください。
	電源コードが断線していませんか？	断線部を補修する、または新しい電源コードに交換してください。
	モーターの寿命ではありませんか？	モーターを交換してください。 モーターの寿命は約500時間です。
●吸引しない。 ●発生音が高くなった。	ゴミがダストタンク一杯になっていませんか？	ダストタンク内のゴミを処理してください。
	ホースや吸込口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	ダストタンクに亀裂が入っていませんか？	ダストタンクを交換してください。
●吸引力が急に弱くなった。	ホースや吸込口にゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
	本体上部とダストタンクは完全に密閉していますか？	本体上部とダストタンクを正しく合わせて、ワンタッチ金具で確実に固定します。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターのホコリを落してください。 フィルターを洗浄してください。 洗浄しても吸引力が回復しないときは、新しいフィルターに交換してください。
	モーターが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモーターを交換、または故障原因を取除いてください。

上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。

7 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「**1**安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記項目の点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	新しい電源コードに交換してください。
差込みプラグに変形やガタはありませんか？	新しい電源コードに交換してください。
ホースは変形したり破れていませんか？	新しいホースに交換してください。
ホース・直管パイプにゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
フィルターが破れていませんか？	新しいフィルターに交換してください。
フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
ワンタッチ金具は正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ダストタンクは変形したり割れていませんか？	ダストタンクを交換してください。
ダストタンク内にゴミがたまっていますか？	ゴミを処理してください。
スイッチ保護ゴムに破れはありませんか？	新しい保護ゴムに交換してください。
クリーナー上部は正しく装着していますか？	モータカバーのスイッチ部を前向きにセットしてください。(4ページ「各部の名称」参照)
キャスターが磨耗したり変形していませんか？	キャスターを交換してください
各部のボルト、ナットはゆるんでいませんか？	増し締めしてください。
モータ回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に連絡してください。
変な音や、臭いがしませんか？	お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

8

アフターサービスと保証について

⚠ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検



★長年ご使用のクリーナーの点検を！

このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店、または当社支店・営業所へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店名			
所在地			
TEL			
FAX			
お買い上げ年月日	年	月	日

株式会社 スイデン

奈良県生駒郡三郷町夕陽ヶ丘 3-26

ホームページ <http://www.suiden.com>

スイデン商品についてのお問い合わせは、最寄りのスイデン支店・営業所へどうぞ！

- 東京支店 ☎ (03) 3625-9003
- 大阪支店 ☎ (06) 6772-2241
- 名古屋支店 ☎ (052) 322-4651
- 福岡支店 ☎ (092) 471-6201
- 仙台営業所 ☎ (022) 255-9593
- 北関東営業所 ☎ (0277) 76-1805
- 静岡営業所 ☎ (054) 237-5172
- 富山営業所 ☎ (076) 441-2707
- 広島営業所 ☎ (082) 292-6311
- 高松営業所 ☎ (087) 843-4896

《製品の廃棄について》 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。